

企業 インダビュ

今回は、鳥が自由に飛び交い、魚が元気に泳ぎまわるクリーンな快適環境を築くための製品展開を行い、「わた」を通して地球環境を考えるたいへんエコロジーな株式会社澤田棉行 代表取締役 澤田安弘氏にお話を伺いました。

企業概要

明治13年に創業し、2010年には130周年を迎えます。創業当初は布団綿の原料の卸売を専門に事業展開しており、播磨木綿を中心に取り扱っておりましたが、現在では、『環境』をキーワードに、時代のニーズにあった新しい分野での商品開発にも積極的に取り組んでいます。

従業員は本社、九州支店でパート社員を含めて32名、平均年齢は40歳前後です。

経営方針について

コミュニケーション

社員一人ひとりが高いモチベーションを持って生き生きと活動し、チーム一丸となって新しいことを成し遂げられる会社を目指します。それには潤滑なる社内コミュニケーションと親密なる顧客コミュニケーションが不可欠です。

今年の行動指針は…

“積極・果敢に挑戦し、PDCAサイクルにのせる”

今年は「積極・果敢に挑戦し、PDCAサイクルにのせる」というのが営業行動指針です。なんでも挑戦してやろうというバイタリティーと、行動をPDCAでうまくコントロールしていくことで、バランスの取れた営業活動を求めていきます。

社是は「あなたに やすらぎが ありますように」なんだかふんわりした表現ですが、環境を通して、社会に貢献していくという思いをこめています。

業界の動向について

海外からの製品に押され、業界は衰退傾向

創業当初は繊維産業も活気がありましたが、グローバル化が進み、徐々に海外で生産が行われるようになると同時に

from



株式会社 澤田棉行



代表取締役

澤田 安弘氏

に、我々商社が海外から綿花を仕入れて、販売するという部分が弱くなっていたといったというのが業界の流れです。

当社も、時代の流れと共に、様々な繊維原料を取り扱う『専門商社』的活動から、時代のニーズに合った新展開をする必要性を感じました

そこで、昭和45年に音響部を開設し、アセテート繊維を利用した各種フィルター、吸音・消音材の製造をダイセル化学と共同開発し販売に着手しました。当時は、不織布という言葉が一般的には使われていませんでしたが、今思えばこれが不織布販売の始まりでした。

会社の動向について

当社の核は布団綿の卸売

当社は大きく分けますと、製造部門と卸売部門に分かれています。卸売部門は、衛生材料・布団綿の素材としての綿花をインド・米国・オーストラリア・メキシコから輸入し、国内繊維メーカーである東レ・帝人・クラレなどからは機能繊維を購入し、販売を行っております。



繊維原料

製造部門でのテーマは「環境」

製造部門では、『環境』というキーワードで、「音」「水」「空気」の汚れを取り除くことをテーマに、具体的にはアセテート繊維の特性を活かした吸音材、特殊な形状に加工し水の汚れを取る水槽用フィルター、空気は通すが菌は通さない綿栓といった商品を製造しています。

環境というテーマは奥が深く、産業資材・生活資材・工

業資材に密着しており、ニーズも多いため、日々用途開発を行っています。最近では「藻類による水質浄化」を兵庫県立大学理学部と共同研究し、本年特許を取得し、具体的な事業化にむけて検討しています。



屋上緑化システム



水槽用フィルター

従業員教育について

若手営業の教育と仕事の基本をきっちりと!!

営業活動においては、当社が“中小企業支援ネットひょうご成長期待企業”に認定されていることもあります。講師の派遣をいただき、若手営業の教育を行いました。

また、自社教育では縫の歴史から、業界の流れ、不織布とは何か？などの商品知識の他に、経理の基礎知識も勉強します。中小企業は営業活動から商品が現金化されるまでの流れを把握していくなければいけませんので、すべての仕事の基本はきっちりと勉強し、少数精鋭な組織づくりを目指しています。

今後について

マーケットにあった付加価値をいかに創りだすか

「難燃」という安全・安心への付加価値をつけた商品で今後のマーケットに対応しようとしています。

これから力を入れていこうとしている商品があります。それはドリームベッド(株)が販売している「ファイヤープロッカ」です。日本国内ベッド業界初の難燃繊維を使用したマットレスで、このマットレスに使用されている難燃不織布を当社で製造しています。

この製品は繊維自体が燃えにくく、火種を取り去り、自己消火する性能がある素材で、火災になっても炎が広がらないという性質を持っています。アメリカのカリフォルニア州の法律(TB-603)をクリアした製品です。

大学との共同研究事業にも力を注ぐ

また、屋上緑化システムを兵庫県立大学との共同で開発しました。大学との共同開発は、開発と製造の役割をお互いに担いながら、認証・認定といったユーザーに対する責任も果たしていくということで、これからもさらに取り組んでいこうと思っています。

趣味・好きな言葉

趣味は美術鑑賞と読書

趣味は美術鑑賞と読書です。美術鑑賞は美術館へ行って静かな空間で「作者はどんな思いでこの絵を描いたのかなあ～」と考えながら、鑑賞するのが好きです。

読書はもっぱら“BLUE BACKS”を読みます。

世の中の原理原則や自然科学に関することが分かりやすく書いてあるので、大好きです。

「生命にとって水とは何か?」「植物はなぜ5000年も生きられるのか?」など、いつも興味をそられるタイトルばかりです。

また、姫路科学館友の会会長を約6年つとめさせて頂いています。施設も充実していますし、もっと皆さんに利用していただいて、自然や環境にさらに興味を持つていただければと思います。

好きな言葉は「挑戦」「気」

好きな言葉は「挑戦」「気」です。

社内でも常に言っているのですが、130年も続いている会社なので“老舗”と言われることもあります。しかし、それは常に「挑戦」し続けてきたからこそ、今があるということなのです。

また、「挑戦」にはスピードが必要です。

拙速ということではなく、まず動く、現場に行き事実を自分の目で見るということを心掛けています。

「気」という言葉には、何事にも「本気」でぶつかり、「根気」強く、「勇気」を持って様々なことに挑戦し、「元気」で「活気」ある組織を求めていくという「気持」がこもっています。

「気」という言葉が好きなのは、そこに計り知れないエネルギーを感じるからです。



社屋

会社概要

会社名／株式会社 澤田棉行

所在地／姫路市西今宿三丁目9番10号

TEL／079-292-0951

FAX／079-294-8171

URL／<http://www.sawadamenko.co.jp>